

## CAD情報

混在書類に強いコダックのドキュメントスキャナーで  
大量の紙図面や設計資料を一気に電子化

問い合わせへの迅速な回答や書類保管場所の削減には電子化が不可欠だ。その際、大いに役立つのが、『コダック イノベーション スキャナー i4000シリーズ』である。大きさや厚みが異なる混在書類を一度に処理でき、コンパクトなのでどんな環境にもマッチする。株式会社OSKの『eValue NSドキュメント管理』とあわせて導入すれば、設計文書の共有化が容易に実現する。

大量の文書を一気に電子化し  
紙図面管理の課題を解消!

製造業や建設業などの設計の現場では、過去の紙図面や設計資料は、顧客へ納品した製品や建造物のメンテナンスや新製品への流用設計に必要なになるので捨てることはできない。そのため、多くの企業が紙図面などを大量に保管しており、倉庫代などで大きなコストが掛かっている。また、紙図面は探し出すまでに時間が掛かるため、流用できる図面があることがわかっていても、結局、一から設計を行い、無駄な時間を割いている場合も多い。最近では、設計

の効率化のために紙図面の電子化に取り組む企業も増えているが、スキャナの都合にあわせて書類をサイズ別・厚さ別に仕分ける手間や紙詰まりへの対応、スキャンできなかった書類の再スキャンなどに時間が取られ、本来の業務に支障を来たすため、過去の紙書類から必要になった箇所だけ電子化を行っている企業も少なくない。しかし、コダックのドキュメントスキャナーを活用すれば、そうした問題も一挙に解消される。

『コダック イノベーション スキャナー i4000シリーズ』は文書管理業務で約80年の実績を持つコダックが業務用ス

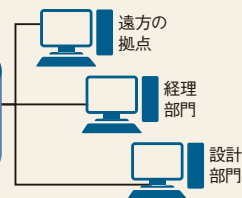
キャナで培った技術をコンパクトサイズに凝縮したSMB向けスキャン専用機だ。混在書類に強く、青焼き図面、第二原図、部材表、仕様書、作業進捗表、現場写真など、サイズや厚みが異なる書類を一括してスキャンできる。3カ所に搭載した超音波センサによる重送検知機能や2種類のフィーダにより、カードサイズから最長6.1mの長尺書類までスキャン可能だ。企業に蓄積された紙文書を電子化する際の作業工数を大幅に軽減できる。紙詰まりなどのトラブルがほとんど生じないため、スキャン作業が中断される心配がなく、オペレータ

■設計の現場の悩みを  
「スキャナ」と「ドキュメント管理システム」が解決大量の混在書類を仕分けなしで  
高速スキャン!

青焼き図面 第二原図  
部材票 仕様書  
作業進捗表 現場写真

過去の設計資産の管理・公開・検索を  
簡単に行える!eValue NS  
ドキュメント管理

- 豊富な検索機能
- 新規文書の一覧
- アクセス権管理



eValue NSドキュメント管理とは  
建設・製造業に便利な「CADビューワオプション」や「ISO文書管理」機能が好評なドキュメント管理システム。製造業向けの「構成管理オプション」は、部品データを構成ツリーで管理できる。

## ■コダック イノベーション スキャナー i4000シリーズ(両面モデル)の主な仕様

一日の推奨処理量	i4200	30,000枚
	i4600	50,000枚
対応書類サイズ	最小:長さ63.5mm×幅63.5mm 厚さ:45~200g/m <sup>2</sup> (標準フィード使用時)	
読取速度 (A4横送り、200dpi、片面・両面とも)	i4200	白黒:100枚/ カラー・グレースケール:75枚/分
	i4600	白黒:120枚/分 カラー・グレースケール:90枚/分
フィーダ容量	最大500枚	
出力解像度	カラー・グレースケール・白黒: 100/150/200/240/300/400/600dpi	
インタフェース	USB 2.0	
本体外形寸法および重量	幅459.7mm×奥行き467.3mm※2 ×高さ347.9mm、34kg	



コダック イノベーションスキャナー i4600

1日に50,000枚を処理<sup>※1</sup>

大容量フィーダは500枚

カラー・白黒・上下も自動処理

※1 i4600の場合 ※2 給排紙トレイを除く

の負荷も大幅に軽減する。一度に最大500枚の文書を高速かつ確実にスキャンでき、コダックの独自技術「Perfect Page」でスキャンしたイメージデータの仕上がりがとてもきれいだとエンドユーザから好評を得ている。破れ・折れ目がついた古い図面でも、クリアフォルダに入れてスキャンすれば、高品質のイメージデータとして管理できるようになるので、スペック以上の効果が期待できる。

### 文書管理システムとの連携であらゆるデータを共有

『コダック イノベーション スキャナー i4000シリーズ(以下、i4000シリーズ)』は、文書管理システム『eValue NS ドキュメント管理』と連携して活用することで、その効果がさらに倍増する。

『eValue NS ドキュメント管理』は、PDFはもちろん、各種Officeファイルに対応したドキュメント管理システムだ。PDF化した図面だけでなく、プロジェクトの進捗管理表や見積書等、あらゆるデータを手軽に登録・管理できる。紙書類を電子化して登録することで、検索性を高め、ナレッジの共有・業務効率化を実現する。

『eValue NS ドキュメント管理』では、CADデータ内のテキストを全文検索できるCADビューワオプションや、部品・構

成情報を製品構成単位で管理できる構成管理オプションが用意されている。製造業のエンドユーザ様にはそれらをセットにした『eValue NS for Engineering Pack』も提供している。これにより、スキャンした図面と一緒にCADデータや構成情報も一元的に管理できる。

さらに、新規に文書が登録されると関連部署にメールで知らせる機能も実装されているので、工場や現場の技術者がモバイル端末から必要な情報をすばやく参照できるようになり、業務効率が大幅に向上する。

また、オートデスクが無償で提供しているクラウドサービス『AutoCAD WS』やSolidWorksの各エディションに付属されている『SolidWorks Enterprise PDM』を併用すれば、過去の設計資産を普段使用している設計環境から簡単に参照できる。いずれも、PDFなどのイメージデータに対応しているので、『i4000シリーズ』で電子化した過去の図面などを、インターネットを介し

て取引先などと共有することも可能になる。

販売パートナー様は、『i4000シリーズ』と上記のようなソリューションをセットでお客様に訴求すれば、大規模な図面管理システムを導入することなく、中小規模の設計事務所や建築会社へ向けたシンプルで導入しやすい図面管理手法の提案が行えるようになる。『i4000シリーズ』は、紙図面に限らず、書籍やカルテなどの電子化にも役立つので、その活用範囲は広い。その意味では、販売パートナー様のビジネスチャンスは大きく広がるはずだ。

### ■PDFならSolidWorksやAutoCADとも簡単に連携

#### ●AutoCAD WS (オートデスク)

AutoCAD WSは、ブラウザでDWG図面を共有し、閲覧・編集が行えるクラウド型サービスだ。CADデータ以外に、Office形式のファイルやPDFがアップロード可能なので、過去の仕様書やプロジェクト進捗表など、設計チームで簡単に情報共有ができる

クラウドでPDFを共有!

#### ●SolidWorks Enterprise PDM 2011 (ソリッドワークス)

SolidWorksとシームレスに連携して利用できるデータ管理ソリューションのSolidWorks Enterprise PDM 2011。離れている設計チーム間でのデータ共有が手軽に行えるため、ナレッジの共有が手間いらずだ

PDMでPDFを活用!